

SHOP

家族連れオススメスポット



かふえ れんげ草



社会福祉法人「新」が運営するカフェ。週替わりのお膳をはじめ、明るい店内で体に優しいお食事やこだわりのスイーツがいただけます。地元の野菜やお団子やお赤飯なども販売しています。2階のフロアはレンタルスペースとしても活用できますので、お問い合わせください。

information:
04-2968-4751
営業時間: 月~金 AM11:00~PM7:00
火・水・木は時間延長可

ふれあいファームセンター



狭山市で採れた新鮮で安心・安全な野菜を届けたいという思いのもと、地元の生産者とともに立ち上げたお店です。旬の野菜や果物、卵やお肉、惣菜等も充実しており、子どもは会計時にお菓子が貰えます。週末には、屋外でイベントを行っています。

information:
04-2956-7001
営業時間 9:00~17:00 定休日 火曜日
住所 埼玉県狭山市入間川1166-1
<http://fureaifarm.jp/>

みんなの食堂



子どもと大人・地域を「食」を通してつなげる「みんなの食堂」が狭山には7ヶ所以上あります。「夢はうすの子ども食堂」「さといも」「にここ食堂」「中央ひまわり食堂」など、無料または安価で利用できます。

information:
狭山市社会福祉協議会
daihyou@sayama-shakyou.or.jp
04-2954-0294

駄菓子屋 ひがし



住宅街の一角にある隠れ家的な駄菓子屋さん。実は店主は一級建築士?! 営業日は金曜日の午後と時々気まぐれで平日や土曜日にやっています。子どもはもちろん、大人も楽しめます。何かあるかは行ってからの楽しみ。

information:
<http://higa-design.jp>

COLUMN

狭山に住む
おかあさんの
はなし
とある

こんにちは。私は7・5・3歳の3人の子どもを育てています。

私が狭山市という地域に関心を持つようになったのは、子どもを産んでから言いようのない孤独に駆られたからです。それがきっかけで「子育て」を通じて地域に根を下ろすことが出来ました。

子どもを持つまでは、「地域社会」という言葉自体無縁でした。職場と家との行き来の生活、若さということもあり、地域と関係しなくても特に困ることはなかったように思えます。

また子どもを生んだら誰しもが「母性」や「子どもの可愛さ」で子育てできると思っていました。しかし、いざ出産してみると、母自身が健康であること、近くに助けられる人がいなくなれば、誰もが「虐待」や「離婚」という問題は起こりえるということを実感しました。



私の実家は遠く、夫の両親は他界しており、近くに頼れる親戚もおらず、当時夫は朝早く、夜遅い、土日仕事に行くという働き方をしていました。友人もいない孤独な生活。

身体は思うように動かず、気力は低下。2歳になりたての長女に声を荒げたり、マンションのベランダの手すりを見て「私はもう逃げられない」と涙を流していました。そんな中「まずは自分自身の体調を整える必要があるのではないか」と思い、「産後ケア」の教室へ通いました。体力がつくと、一番助けてほしい夫と前向きな会話をする事ができ、その教室で、かけがえのない子育て仲間に出会いました。

元気になると「子育てしやすい環境」というのは、人任せにしていればじまらないのではと考えるようになりました。友人たちとの「産後ケア」を広げる活動を通して、多くの人に会い、地域に目を向けると「狭山市」という地域は、自然に恵まれ、「子ども」や「まちづくり」に対して熱い想いを抱いている人が多いことに気づきました。

人のつながりがあったからこそ、実家が遠くても狭山で第三子を産もうと決断もできました。

私にとって私と地域社会を結んでくれた「子育て」のつながりあっての今の生活だと思っています。



Go! Go! Next Page!

